

GO Carbon Neutral!

世界を変える
挑戦を見にいこう。



EXHIBITION INFORMATION 人とくるまのテクノロジー展 2022 YOKOHAMA

プレオープン 5/18-24
2022 5/25 WED 10:00-18:00 26 THU 10:00-18:00 27 FRI 10:00-17:00

パシフィコ横浜 PACIFICO Yokohama 事前登録制

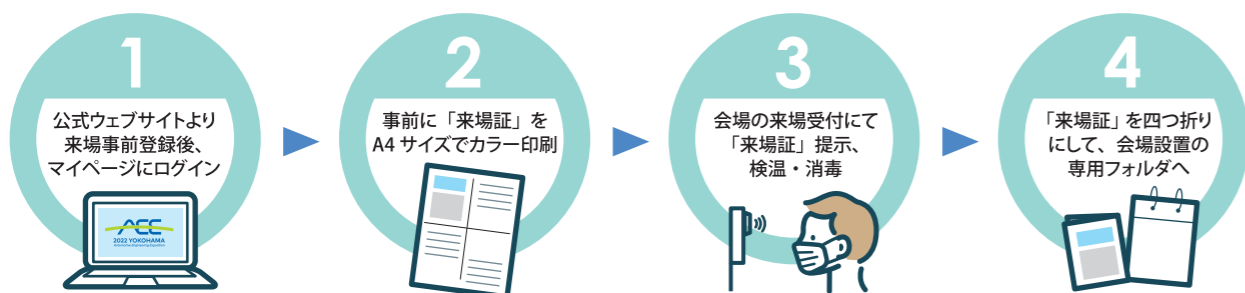
ONLINE STAGE 1 5/25(金) - 31(木) 2022年 4月4日(月)~

※プレオープンは人とくるまのテクノロジー展公式サイトにて実施いたします。
本状に記載の開催時間・企画等は変更となる場合がございます。最新情報は公式サイトをご確認ください。



その先のテクノロジーが見える 将来の車社会を展望する技術展

■ご来場方法 ご来場前に必ず事前登録をお済ませください。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、当日登録の受付はございません。



本展示会では、徹底した新型コロナウイルス感染症予防対策を実施いたします。

- 全参加者に検温器等による体温測定を実施
- 密にならないようガイドラインに従った入場制限を実施
- すべての出入口に消毒液を設置
- 全参加者へマスク着用を徹底
- 指定救護室の設置
- 扉の開放、空調設備による常時換気

*本状に記載の事項は変更となる場合がございます。最新情報は公式サイトをご確認ください。新型コロナウイルス感染症予防対策の詳細は、日本展示会協会のガイドラインおよびパシフィコ横浜が策定した「パシフィコ横浜における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」をご確認ください。

人とくるまのテクノロジー展 2022 YOKOHAMA

Automotive Engineering Exposition 2022

5/18 WED - 5/31 TUE

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
プレオープン 人とくるまのテクノロジー展 公式サイト ※来場登録不要							人とくるまのテクノロジー展 2022 横浜 パシフィコ横浜						
人とくるまのテクノロジー展 2022 ONLINE STAGE 1 人とくるまのテクノロジー展 オンライン展示会サイト													

「人とくるまのテクノロジー展 公式サイト」では、5月18日(水)より「人とくるまのテクノロジー展2022 YOKOHAMA」プレオープンを実施いたします。プレオープンでは、リアル展示会で実際に展示する製品・サービスの概要を来場登録せずに確認することができ、会期前から「人とくるまのテクノロジー展」をより一層お楽しみいただけます。なお、「人とくるまのテクノロジー展2022 名古屋」・「人とくるまのテクノロジー展2022 ONLINE STAGE 2」は6月29日(水)より開催いたします。

主催者企画展示 横浜 ONLINE STAGE 1

熱い思いで切り拓こう! カーボンニュートラルへの道

自動車技術開発の歴史を振り返ると、私たちの社会を便利で豊かなものとするため、自動車業界だけでなく関係業界をも巻き込み総力を結集した開発に明け暮れた日々であったと思います。そして現在、脱炭素という地球規模でのニーズが押し寄せ、日本をはじめとする多くの国・地域が「2050年カーボンニュートラル達成」という目標を宣言しています。その目標達成のため、解決策の一つとして自動車の電動化が叫ばれ、内燃機関の販売禁止をも含めた規制強化に乗り出す国・地域も現れています。日本においても、様々な角度から国情に沿った検討が進められています。

この世界的な目標であるカーボンニュートラルに向け、自動車業界においてもこれまで以上に技術開発に広がりを持ち、業界内外の垣根を超えた協力が行われています。

今回の「人とくるまのテクノロジー展 2022」をご覧いただき、カーボンニュートラル実現に向けた行動の一助としていただければ幸いです。

— 新たな脱炭素技術が照らすカーボンニュートラルへの道 —

ここでは、自動車の電動化を中心にその周辺を含めた様々な課題を、日本の電源構成を出発点に再生可能エネルギーに関する技術開発に着目し、カーボンニュートラルへの道を「創・蓄・使」の観点で捉え、それぞれの技術開発が自動車業界にどのように影響しながらカーボンニュートラルを目指していくのかを考える展示となっています。

創 再生可能エネルギーを活用した発電システム

「創」のゾーンでは、カーボンニュートラル時代の電動車に欠かせないエネルギーを、太陽光や風力といった自然エネルギーから生み出す技術、CO₂を回収し自然エネルギーから得られた水素と反応させ内燃機関用燃料に変える技術など、エネルギーを作る工程で可能な限りCO₂を発生させない技術について展示しています。



蓄 蓄電池やエネルギー運搬の最新技術

「蓄」のゾーンでは、海外にある未利用資源を用いて水素を製造し、日本へ輸送する水素サプライチェーンを構築する取り組み、効率的に水素を車載する技術、また、新たな発想で開発が進む新型電池や電池の劣化度を診断する技術など、水素・電気を何時でも、何処でも、誰でも利用可能とする技術について展示しています。

使 電動車の高効率化と既販車対応技術

「使」のゾーンでは、自動車の原動力技術の高効率化にフォーカスし、従来エンジンの燃焼効率をさらに高め、バイオ燃料・合成燃料といった次世代燃料の活用をも目指した新技術、電動車を効率化する電動技術など、最新動向を紹介するとともにカーボンニュートラルの実現に繋がるモビリティ普及の可能性について展示しています。

展示協力企業・団体 (五十音順掲載)

AHEAD(次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合)/NTTアドバンステクノロジー株式会社/シャープ株式会社/株式会社デンソー/株式会社東芝/戸田建設株式会社/トヨタ自動車株式会社/日産自動車株式会社/日本大学/NEDO/HySTRA(技術研究組合CO₂フリー水素サプライチェーン推進機構)/株式会社日立製作所/日立造船株式会社/本田技研工業株式会社

主催者企画講演 ONLINE STAGE 1 主催者企画展示のテーマに沿った6講演をオンラインコンテンツとしてお届けします。

5/25 WED 10:00～(同日中) ※5/30(月)～5/31(火)に見逃し配信を予定しております。(6/1(水)～6/10(金)はJSAE会員限定で配信予定)



第6次エネルギー基本計画と クリーンエネルギー戦略の検討状況について

経済産業省
資源エネルギー庁
総務課戦略企画室 室長
西田 光宏 氏

昨年10月に閣議決定した第6次エネルギー基本計画、さらには現在検討中のクリーンエネルギー戦略の検討状況についてご紹介し、2050年カーボンニュートラルに向けて自動車業界に期待する対応などご説明いたします。



カーボンニュートラル時代の 運輸システム

産業技術総合研究所
名誉リサーチャー
大和田野 芳郎 氏

現在化石燃料に強く依存している運輸分野でのカーボンニュートラル実現について、道筋と、技術の現状についてお話しします。

5/26 THU 10:00～(同日中) ※5/30(月)～5/31(火)に見逃し配信を予定しております。(6/1(水)～6/10(金)はJSAE会員限定で配信予定)



新型太陽電池開発の現状と展望

—Cu₂Oタンデム型太陽電池及び
フィルム型ペロブスカイト太陽電池—

株式会社東芝
研究開発センター フェロー
山本 和重 氏 / 高須 勲 氏



蓄電池分野における NEDOの取組について

NEDO
スマートコミュニティ・エネルギーシステム部
主任研究員
臼田 浩幸 氏

気候変動問題の解決に向けたキーテクノロジーの1つである蓄電池について、グリーンイノベーション基金を含むNEDO蓄電池分野における研究開発の概要について紹介いたします。

5/27 FRI 10:00～(同日中) ※5/30(月)～5/31(火)に見逃し配信を予定しております。(6/1(水)～6/10(金)はJSAE会員限定で配信予定)



カーボンニュートラルな合成燃料の作り方

成蹊大学
理工学部 教授
里川 重夫 氏

燃焼してもCO₂を増やさないカーボンニュートラルな合成燃料は、再生可能エネルギー由来の電力に水とCO₂を用いて製造することができます。その方法と課題について紹介します。



モビリティとエネルギーの連携 Honda eMaaS ～CASEに加えるべき要素“e”～

株式会社本田技術研究所
先進PJエネルギー研究所
エグゼクティブチーフエンジニア
岩田 和之 氏

CASEという考え方が拡がりを見せる中でHondaは独自のコンセプト「Honda eMaaS」を提案、今回は「Honda Mobile Power Pack」を中心にトヨタとのコラボレーション「Moving e」の取組などレジリエンス観点でもモビリティの電動化を説明します。

新車開発講演 ONLINE STAGE 1

車両開発者に、くるまづくりにかけた熱意、思い入れを語っていただく講演企画です。

※5/30(月)～5/31(火)に見逃し配信を予定しております。(6/1(水)～6/10(金)はJSAE会員限定で配信予定)

5/26 THU 10:00～(同日中)



SUVと 電動車の魅力を高めた 新型アウトランダー

三菱自動車工業株式会社
製品開発本部 SCVE
本多 謙太郎 氏

商品コンセプトの「威風堂々」を「力強さ」「頼もしさ」「上質感」「力強く滑らかな走り」から実現。「新開発のプラットフォーム」と「進化した4WD技術およびPHEV技術」の融合によりひとクラス上のSUVと進化した新型アウトランダーを紹介いたします。



新時代の電気自動車 日産アリアの開発

日産自動車株式会社
第一製品開発本部 車両開発主管
中嶋 光 氏

電気自動車ならではの力強い加速、滑らかな走り、静粛性を兼ね備えながら、室内はラウンジのような心地よい空間を実現した、革新的なクロスオーバーEV「日産アリア」の新技術や魅力を車両開発責任者より紹介します。



関連催事

2022年春季大会

自動車技術会2022年春季大会を
5月25日(水)～27日(金)パシフィコ横浜
およびオンラインにてハイブリッド開催いたします。
学術講演会その他、Keynote Address、
学生ポスターセッションなどを
実施いたします。

5/26 THU 17:00～18:00 Keynote Address



業界を超えた イノベーションで 気候変動に挑む

東京電力ホールディングス株式会社
フェロー
姉川 尚史 氏

出展社一覧

横浜

ONLINE STAGE 1 出展社:395社 / 1,049小間

ONLINEのみ 出展社:24社

横浜・ONLINE STAGE 1 への出展社

アーカイブティップス株式会社
株式会社RPV
株式会社IH検査計測
IHS Markit now a part of S&P Global
IAV株式会社
IMV株式会社
愛三工業株式会社
株式会社アイシン
愛知製鋼株式会社
アイディアアクセス株式会社
株式会社IDAJ
IPG Automotive株式会社
I-PEX株式会社
AUTOCRYPT Co., Ltd.
株式会社青海製作所
アキュイティー株式会社
アグラティジャパン合同会社
株式会社浅野研究所
旭化成株式会社
旭鉄工業株式会社
アサヒフロンジ株式会社
株式会社朝日ラバー
ASAM Japan G.K.
株式会社アスク
Aspen AeroGel, Inc.
ATESTEOジャパン株式会社
アトセンス株式会社
株式会社アドバネクス
株式会社アドバンテスト
アナリスリサーチ株式会社
Amsted Automotive Group
株式会社アルゴ
アルテアエンジニアリング株式会社
株式会社アントンバルジャパン
IASYS Technology Solutions株式会社
株式会社e-オタマ
株式会社イージーメジャー
イーストマンケミカルジャパン株式会社
イータス株式会社
イグス株式会社
イザベレンヒュッテ株式会社
いすゞ自動車株式会社
市光工業株式会社
IDIADA Automotive Technology S.A.
出光産業株式会社
イワタボルト株式会社
インターステラテクノロジズ株式会社
株式会社インテノス・ジャパン
インテグレーションテクノロジ株式会社
Witzenmann Japan株式会社
エア・プラウン株式会社
AAM International Holdings Inc.
英国ハビロン
H.E.F. DURFERMIT JAPAN株式会社
HKT株式会社
ATI Worldwide LLC
APL Automotive Japan株式会社
株式会社エー・アンド・ティ
ams-OSRAM ジャパン株式会社
A2Mac1 JAPAN株式会社
AB Dynamics合同会社
株式会社エクセディ
SMK株式会社
SMTジャパン
SCSK株式会社
株式会社エッチ・ケー・エス
株式会社NOFメタルコーティングス
NOK株式会社
NTN株式会社
エフ・アイ・ティ・パシフィック株式会社
エフ・イー・ヴイ・ジャパン株式会社
株式会社エフ・シー・シー
MMT (MOVING MAGNET TECHNOLOGIES SA)
エムティエスジャパン株式会社
エリコンジャパン株式会社
Elmos Japan株式会社
エルリングクリンガー・マルサン株式会社
オエティカジャパン株式会社
株式会社大手技研
公益財団法人岡山県産業振興財団
小川工業株式会社
沖エンジニアリング株式会社
株式会社オクテック
株式会社オティックス
株式会社小野測器

ダイキョーニシカワ株式会社
ダイキン工業株式会社
大同メタル工業株式会社
ダイロン株式会社
ダイハツ工業株式会社
大豊工業株式会社
大洋産業貿易株式会社
株式会社タカギセイコー
株式会社カネカテックノリサーチ
株式会社GAFS
株式会社カンデラジャパン
株式会社キーエンス
キーコム株式会社
キーパー株式会社
株式会社木村鋳造所
キャテック株式会社
九州柳河精機株式会社
QMAIL
京セラ株式会社
株式会社共和電業
グリーンソシアアジア株式会社
株式会社クレアクト
株式会社グローブ・テック
桑原鋳工株式会社
株式会社計算力学研究センター
計測エンジニアリングシステム株式会社
京浜精密工業株式会社
株式会社ケン・オートメーション
株式会社小糸製作所
高分子計器株式会社
株式会社神戸製鋼所
コーンステクノロジー株式会社
国際計測器株式会社
コベストロジャパン株式会社
コンクレント日本株式会社
コンチネンタル・オートモーティブ株式会社
サイエンスソリューションズ株式会社
株式会社デンソー
株式会社電波新聞社
株式会社東海理化
株式会社東京アールアンドデー
株式会社東京測器研究所
東京ダイレック株式会社
東京バーツ工業株式会社
株式会社東郷製作所
東芝グループ
東芝三菱電機産業システム株式会社
株式会社東陽テクニカ
東洋電機製造株式会社
株式会社トーホー
トーホーエンジニアリング株式会社
所沢軽合金株式会社
戸田工業株式会社
株式会社戸田レーシング
トビー・テクノロジ株式会社
株式会社トブコンテックノハウス
豊田合成株式会社
トヨタ自動車株式会社
トヨタ車体株式会社
トヨタテクニカルディベロップメント株式会社
トヨタ紡織株式会社
トライオプティクス・ジャパン株式会社
NIRA Dynamics
株式会社ナカリキッドコントロール
株式会社ナックイメージテクノロジ
ナトコ株式会社
株式会社ニコン/ニコンソリューションズ
ニシヤマ/大和製衡/日本風洞製作所
株式会社日産アーク
日産自動車株式会社
株式会社日産製作所
日東紡績株式会社
株式会社NIPPO
日本アイ・ティ・エフ株式会社
日本アビオニクス株式会社
日本ガイシ株式会社
日本化薬株式会社
日本ケムコン株式会社
株式会社日本船渠
日本精機株式会社
日本製鉄株式会社
日本ゼオン株式会社
日本特殊陶業株式会社
日本発条株式会社
日本ピストンリング株式会社
株式会社ニテック
日本イーエスアイ株式会社

株式会社日本ヴィアイグレイド
本多通信工業株式会社
マーケラインズ株式会社
マールゲル
マイクロファスナー株式会社
株式会社マツイ
株式会社松井製作所
株式会社マックスシステムズ
松定プレジション株式会社
マツダ株式会社
松本興産株式会社
丸文株式会社
丸紅情報システムズ株式会社
株式会社水野鉄工所
三井化学株式会社
三菱ケミカル株式会社
三菱自動車工業株式会社
三菱マテリア株式会社
株式会社日本レーザー
ネオリウム・テクノロジ株式会社
株式会社ネットビジョン
株式会社ノビテック
株式会社バーチャルメカニクス
株式会社バイオシステム
ヴァイスラ株式会社
伯東株式会社
HUTCHINSON JAPAN株式会社
パナソニック株式会社
浜名湖電機株式会社
浜松ホトニクス株式会社
有限会社原製作所
バルステック工業株式会社
ハルターマン・カーレス・ジャパン合同会社
株式会社バルメソ
株式会社ヴァレオジャパン
株式会社PTVグループジャパン
ビクトレックスジャパン株式会社
日立Astemo株式会社
日立金属株式会社
株式会社ビュース
株式会社ユーマテクス/イ/パ/ベ/テ/プ/リ/ユ/シ/ソ/ズ/ジャ/ン
ビュラーモーターリミテッド
ヒロセ電機株式会社
華為技術日本株式会社
株式会社ファソテック
ファンクションベイ株式会社
VBOX JAPAN株式会社
フィルムリクス株式会社
株式会社フォアシスト
株式会社フォーイン
Formlabs株式会社
株式会社フォーラムエイト
株式会社フォトロン
フォルシア・ジャパン株式会社
深瀬商事株式会社
株式会社フクダ
富士計測システム株式会社
富士高分子工業株式会社
株式会社不二越
株式会社富士テクニカルリサーチ
不二電子工業株式会社
富士フィルムイメーjingシステムズ株式会社
フタバ産業株式会社
株式会社bryka
ブルカージャパン株式会社 ナノ表面計測
古河電気工業株式会社
プロメテック/ソフトウェア株式会社
ペーカヒューズ
株式会社BETA CAE Systems Japan
ヘガネスジャパン株式会社
Hexagon
ヘッドアコースティクスジャパン株式会社
日本アラスト株式会社
PEM Japan株式会社
ヘラージャパン株式会社
ヘラマンタイン株式会社
ベルギー・フランダース政府貿易投資局
ベルホフ株式会社
ヘンケルジャパン株式会社
ポッシュ株式会社
ホツティンガー・ブリュル・ルーカー
ポプリベックファスナー株式会社
ポリテックジャパン株式会社
株式会社堀場製作所
ポリブラ・エポニック株式会社
ボリュームグラフィックス株式会社
ボルグワナーモルシステムズジャパン株式会社

※五十音順掲載 2022年3月25日(金)現在 (共同出展社は含んでおりません)